

# 生涯学習とそれぞれの「エンパワーメント」

原 ひろ子

女性のエンパワーメントを促進するための生涯学習のあり方について、ノルウェー・韓国・アメリカの3カ国と日本を比較しながら明らかにすることを目的に、「女性の学習関心と学習行動に関する国際比較調査研究」(平成13〔2001〕年度～16〔2004〕年度)を行った。また、「平成16年度女性の生涯学習国際フォーラム 生涯学習とそれぞれの『エンパワーメント』」(平成16年7月3日～4日、於：国立女性教育会館)は、その調査結果を公開し、参加者と討議を深めるために実施された。

この国際比較調査において、3カ国を選んだ理由は、以下のとおりである。ノルウェーはUNDP(国連開発計画)が毎年発表するGEM(Gender Empowerment Measure ジェンダーエンパワーメント指標)が非常に高い国であるためである。韓国はとても身近な国であるが、たとえば女性発展基本法(1995年)、家庭暴力防止および被害者保護などに関する法律(1997年)、などを常に日本に先駆けて制定している。女性が元気に溢れており、私たちは是非韓国から学びたいと思ったからである。また、アメリカからは常に私たちは何かを学んで来ている。そういう国々が、選定された。

図1に示す調査の枠組みは、具体的に質問票をつくる際の指針としたものである。生涯学習のあり方・社会教育/生涯教育のあり方は、それぞれの国で歴史的にも異なっており、参加者たちがどういう気持ちで、なにを求めて生涯学習に参加しているのか多様な様相が見られる。そういう状況の中で、4カ国比較を実施するに際して、一定の困難が伴った。どのような国際比較調査でも、どうやって資料を比較可能なものにしていくかというのは容易なことではない。たとえば調査票の翻訳に関しても工夫が必要であり、その国の状況に応じた表現に変更する必要も生じる。質問項目そのものについても私たちはいろいろと議論し、Aという国では従来の調査項目に入っていない質問を入れて

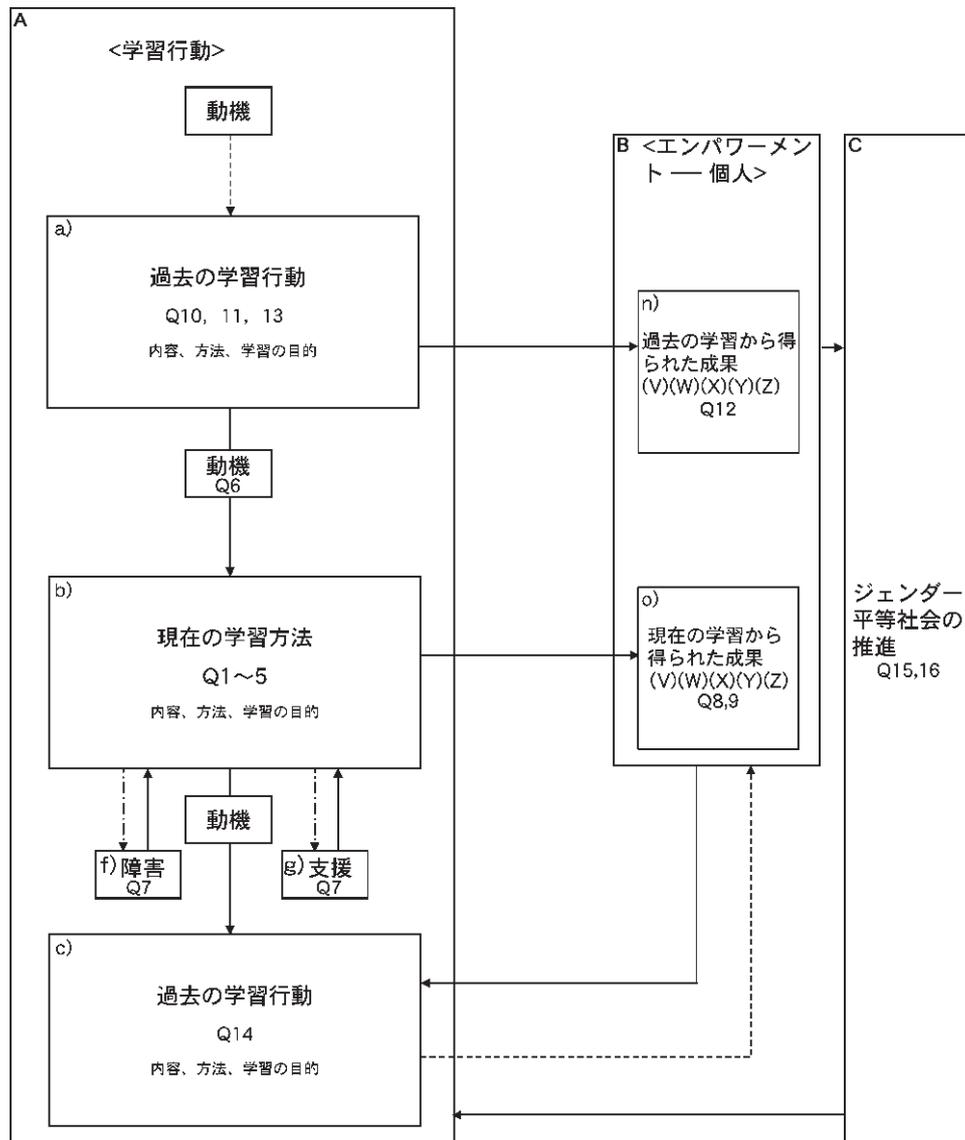
おかないと対象者の状況が適確に把握できないというような項目もあるので、4カ国の調査票にその種の質問を入れることにも努めた。

また、結果としては、誰にとっても何らかの悔いの残る質問項目となっているとしても、メンバーの共通理解として重要なものを取り入れることで合意した。各国の質問項目は、調査報告書『女性の生涯学習とエンパワーメント——日本・韓国・ノルウェー・アメリカの4ヶ国比較調査から——』(平成16年6月、国立女性教育会館) pp.440-475に掲載されている。そういう点もどうぞお察しいただきながら、批判的な目でこの調査結果を見ていただきたい。

この調査において非常に興味深い点は、第1に、男女共同参画が当然のことになっているノルウェーにおける回答行動と、男女共同参画実現の途上にある韓国や日本の回答者の回答行動が異なっている点である。それぞれの国の事情を理解した上で、データを解釈するということが重要なのである。

第2に、回答行動の傾向が、国によって異なる点である。アメリカでのさまざまな意識調査、世論調査において、回答者は肯定的な回答をする傾向がある。日本は、「どちらともいえない」といったような回答をする人が多い傾向がある。今回の質問に、なるべく「どちらでもない」という選択肢を載せないようにするか否かを議論したが、国際比較の場合には、その問いはBという国にとっては大事だけれども、Cという国においては「どちらでもない」という現実がある。本調査では、このような選択肢は、1つの問い(「問17「あなたご自身は『男は仕事、女は家庭』という考え方に賛成ですか、反対ですか? あてはまるもの1つに○印をつけてください」)にのみ設定することとした。

今後の課題として残っているのが、回答行動そのものをテストするような質問を3問ぐらい入れることである。そうすれば、国によって回答行動が異なる意味



注：この概念図は、アンケート調査だけでなく、後述のインタビュー調査にも適用されるものである。

図1 調査の目的と内容の概念図（デザイン）

を察することができたかもしれないと思う。1つの調査でそれを全部しようとしても無理であり、回答行動に関する研究はまた別途に実施しないとだめだということかもしれないが、この点に課題が残っている。

調査結果の中で興味深かったのは、学習を始める目的や動機に関して、日本では「友人をつくる」が男性も女性も23%と高いことである。それに対して、韓国、ノルウェー、アメリカでは、いずれも男女ともに10%以下である（表2参照）。一方、表3の一番上の「家族・友人に関すること」という質問について、学習支援として「友人のはげまし」が重要という回答は、

アメリカ、日本、ノルウェー、韓国という順番である。しかし、「友人をつくることを目的として学習に参加する」というのは、日本の回答において抜きん出ている。

前記の国際フォーラムの際に、ノルウェーのカウンターパートである Heidi Engesbak 氏は、「ノルウェーのデータでは、後期中等教育と大学とカレッジのレベルに分けたが、そこの学生たちは友達をつくるために学生をしているわけではなく、学位を取得するためであるとか、自己実現のためにコースを取っている。そのついでに、友人ができる」とコメントしてい



る。

また、アメリカのカウンターパートの Elizabeth Hays 氏は、「ウィスコンシン州立大学マディソン校のプログラムは、主として知能、技能の向上、それから学位取得を目的とするものであり、付加価値として友達をつくるということもあるかもしれないが、友達をつくらうということで行くことはないと思う。結果として、友達はつくるが」と述べている。

さらに韓国のカウンターパートの Kwak Sam-Geun 氏は、「韓国では、職場での技能をもっと向上させたいとか、知的な地平線を広めようとかいう気持ちで生涯学習機関に行くと思われる。学習施設に友達を誘って行くこともあると思うが、友達をつくるためにということではない」とコメントした。

この国際比較調査において、調査対象となった女性と男性は、生涯学習機関を活用した学習において、多様な意味でのエンパワメントの実現を行っているといえる。調査研究を行って、やはりそれぞれの国における特徴が見えてきた。それと同時に、数字だけで見ているとわからなかった背景や状況などが、各国の担当者による発表ではっきり理解できた。このようなシンポジウムで討論を行うことが重要だと思われる。

たとえば、ノルウェーでは、学習に際しての時間の流れ方がゆったりしていて、参加者が思索の時間を持

つことができるようである。

それから韓国では、現在日本での単位互換制よりも、ずっと幅広い意味での単位が貯金できる「学点銀行制度」があるようである。

アメリカに関しては、多様な職場で働いている学生の学習に対するサポートが充実している。たとえば、時間のサポート、お金のサポート、資格が取れた後の昇格・昇進に関するサポートなどである。これらは、日本としても学ぶべきところが多い。

エンパワメントを促進するには、生涯学習の世界だけにとどまらず、21世紀を生きていく上で、日本社会全体のシステムに関して何を私たちの課題とするべきかを、4カ国比較の間に考えさせられた。

(はら・ひろこ 城西国際大学大学院客員教授)

表2 現在の学習を始める目的や動機（「とても重要」と答えた人の割合）（%）

		日本			韓国			ノルウェー			アメリカ		
		女性	男性	合計 (N)	女性	男性	合計 (N)	女性	男性	合計 (N)	女性	男性	合計 (N)
自分自身について	1 考える力を向上させる	47.7	50.5	48.8 (617)	33.5	30.2	32.1 (344)	18.4	11.6	16.1 (166)	65.7	71.5	67.7 (649)
	2 コミュニケーション能力を向上させる	33.3	31.9	32.8 (414)	22.0	17.7	20.1 (216)	19.9	14.5	18.0 (186)	55.6	60.5	57.3 (549)
	3 自分に自信をつける	49.7	45.8	48.1 (608)	38.1	32.0	35.4 (380)	23.8	15.1	20.8 (215)	52.0	52.5	52.2 (500)
	4 心を豊かにする	44.8	36.6	41.5 (524)	49.9	35.0	43.5 (466)	53.5	41.8	49.5 (511)	65.4	63.8	64.8 (621)
	5 視野を広げる	67.2	58.5	63.7 (805)	44.2	42.1	43.3 (464)	67.9	54.0	63.2 (652)	79.9	74.5	78.0 (747)
	6 自己実現をはかる	44.6	42.3	43.7 (552)	41.7	38.4	40.3 (432)	29.4	21.3	26.6 (275)	70.7	70.9	70.8 (678)
	7 長年の夢を実現させる	23.5	22.9	23.3 (294)	22.2	27.9	24.6 (264)	46.3	31.5	41.3 (426)	61.7	59.6	61.0 (584)
	8 情報を得る能力を増す	40.5	35.2	38.4 (485)	30.9	29.4	30.2 (324)	16.5	14.8	15.9 (164)	51.0	53.1	51.8 (496)
	9 友人をつくる	23.2	23.1	23.2 (293)	4.9	8.2	6.3 (68)	4.9	6.3	5.3 (55)	4.8	7.1	5.6 (54)
	10 余暇を活用する	17.0	13.3	15.5 (196)	18.4	6.0	13.1 (140)	11.8	10.8	11.4 (118)	9.7	13.1	10.9 (104)
	11 心身の健康をはかる	21.5	24.9	22.9 (289)	20.7	15.8	18.6 (199)	5.3	5.7	5.4 (56)	24.0	32.9	27.1 (260)
家庭生活について	1 家庭生活や日常生活に役立つ知識や技能を得る	29.3	27.4	28.6 (361)	27.1	15.1	21.9 (235)	12.8	11.9	12.5 (129)	24.6	24.0	24.4 (234)
	2 子育てに役立つ知識を得る	14.7	8.6	12.3 (155)	33.5	9.9	23.3 (250)	3.5	3.1	3.4 (35)	17.2	16.9	17.1 (164)
	3 家族からの期待にこたえる	8.9	14.9	11.3 (143)	10.5	14.7	12.3 (132)	1.3	2.6	1.7 (18)	25.9	30.9	27.7 (265)
	4 子どもにとってよい手本になる	15.1	14.9	15.0 (190)	28.6	15.8	23.0 (247)	7.6	4.3	6.5 (67)	47.2	47.2	47.2 (452)
	5 夫・妻やパートナーとの関係をよくする	13.1	14.7	13.8 (174)	11.2	8.6	10.1 (108)	1.6	3.1	2.1 (22)	15.0	22.8	17.7 (170)
職業生活について	1 学位や、仕事に関する資格を取得する	43.6	46.0	44.5 (563)	30.0	38.2	33.6 (360)	45.4	42.9	44.6 (460)	87.1	82.2	85.4 (818)
	2 就職・再就職する	42.0	56.0	47.6 (602)	20.4	24.0	21.9 (235)	30.9	29.3	30.3 (313)	48.1	54.0	50.2 (481)
	3 転職する	25.4	27.2	26.1 (330)	11.7	12.5	12.0 (129)	26.6	23.6	25.6 (264)	50.1	51.0	50.4 (483)
	4 現在の職を維持する	13.9	14.9	14.3 (181)	25.0	29.4	26.9 (288)	5.6	5.7	5.6 (58)	15.9	13.4	15.0 (144)
	5 昇進・昇格する	9.3	15.3	11.7 (148)	14.1	21.6	17.4 (186)	25.7	22.4	24.6 (254)	63.1	62.6	62.9 (603)
	6 収入を増やす	21.4	27.0	23.7 (299)	13.5	27.9	19.7 (211)	26.3	21.9	24.8 (256)	67.8	70.3	68.7 (658)
	7 現在の職業に関連する知識や技能を向上させる	34.7	39.5	36.6 (463)	28.4	42.1	34.3 (368)	51.8	42.9	48.7 (503)	50.4	54.9	52.0 (498)
地域や政治的な活動について	1 ボランティア活動やNGO・NPO活動に参加する	13.7	9.6	12.0 (152)	10.2	4.3	7.6 (82)	3.7	7.4	4.9 (51)	11.9	16.3	13.5 (129)
	2 社会の動きや政治問題について認識を深める	24.3	19.4	22.3 (282)	6.6	3.0	5.0 (54)	7.6	3.7	6.3 (65)	30.9	32.3	31.4 (301)
	3 政治的な活動に参加するための能力を高める	8.0	5.3	6.9 (87)	3.3	3.7	3.5 (37)	2.5	2.0	2.3 (24)	19.0	24.0	20.8 (199)
	4 地域や社会のなかで貢献できる能力を高める	23.4	20.0	22.0 (278)	10.8	8.0	9.6 (103)	3.2	3.4	3.3 (34)	41.7	44.8	42.8 (410)
	5 リーダーとしての力を身につける	14.2	17.4	15.5 (196)	17.2	16.8	17.1 (183)	18.4	22.2	19.7 (203)	40.6	54.0	45.3 (434)
	6 政治に参加する	6.4	3.9	5.4 (68)	2.0	1.9	2.0 (21)	1.3	1.4	1.4 (14)	13.0	16.9	14.4 (138)
	7 ジェンダーの問題や男女平等について考える	16.3	7.8	12.9 (163)	9.2	3.2	6.6 (71)	2.1	1.1	1.7 (18)	17.6	20.5	18.6 (178)

表3 学習活動に対する支援・配慮（支援や配慮があった場合で「とても支えになった」と答えた人の割合）（％）

		日 本			韓 国			ノルウェー			アメリカ		
		女性	男性	合計 (N)	女性	男性	合計 (N)	女性	男性	合計 (N)	女性	男性	合計 (N)
家族・友人に関すること	1 家族、パートナーの理解	50.9	46.6	49.1 (621)	38.8	21.2	31.2 (334)	46.0	23.0	38.2 (394)	60.1	48.1	55.8 (535)
	2 友人のほげまし	33.1	22.9	29.0 (366)	19.4	6.3	13.7 (147)	30.4	12.8	24.4 (252)	40.4	26.1	35.4 (339)
	3 家族や親戚からの金銭的援助	17.7	29.4	22.4 (283)	20.9	9.7	16.0 (172)	10.7	6.8	9.4 (97)	26.6	20.5	24.4 (234)
	4 家事や育児・介護に対する家族からの支援	18.7	10.4	15.3 (194)	12.8	5.8	9.8 (105)	12.2	4.5	9.6 (99)	26.6	15.4	22.7 (217)
	5 家事や育児・介護に対する公的支援	6.8	5.3	6.2 (78)	6.1	2.8	4.7 (50)	4.1	7.1	5.1 (53)	10.0	7.1	9.0 (86)
職場に関すること	1 職場の理解	9.6	14.5	11.6 (146)	7.6	14.3	10.4 (112)	24.4	19.6	22.8 (235)	32.9	23.4	29.5 (283)
	2 雇用主からの金銭的援助	2.4	4.5	3.2 (41)	4.4	10.4	7.0 (75)	25.0	25.3	25.1 (259)	15.3	12.8	14.4 (138)
	3 職場での、学習活動に対する時間的配慮	6.6	10.6	8.2 (104)	7.6	13.8	10.3 (110)	14.7	15.9	15.1 (156)	25.9	19.3	23.6 (226)
学習施設に関すること	1 通いやすいところにある学習施設・機関	34.3	32.9	33.7 (426)	32.0	18.4	26.1 (280)	20.4	15.1	18.6 (192)	47.7	49.6	48.3 (463)
	2 学習について相談する人や相談場所	19.9	18.6	19.4 (245)	21.3	16.0	19.0 (204)	21.5	15.9	19.6 (202)	38.5	35.0	37.3 (357)
	3 受講料が低額あるいは無料であること	54.8	43.1	50.1 (633)	32.2	23.5	28.5 (305)	13.7	15.6	14.3 (148)	43.5	44.5	43.8 (420)
	4 少しずつ単位をとっていきける受講の仕組み	17.8	17.8	17.8 (225)	31.5	16.4	25.0 (268)	43.7	27.0	38.0 (392)	37.7	36.8	37.4 (358)
	5 一緒に学ぶ仲間や友人がいること	53.3	42.3	48.8 (617)	19.4	11.4	16.0 (171)	20.3	11.1	17.2 (177)	24.8	24.6	24.7 (237)
講座・学級、授業について	6-a) 自分の関心や必要に合った学習内容	46.7	37.2	42.9 (542)	43.2	26.6	36.0 (386)	45.9	30.4	40.6 (419)	56.0	53.1	55.0 (527)
	6-b) 自分の力にあった学習内容	27.1	24.3	25.9 (328)	29.6	18.1	24.6 (264)	38.7	26.7	34.6 (357)	53.0	49.9	51.9 (497)
	6-c) 自分に合った学習の方法	26.6	19.6	23.7 (300)	26.4	16.2	22.0 (236)	46.0	33.2	41.7 (430)	46.5	38.9	43.8 (420)
	6-d) 自分の都合に合った開講時間	33.5	30.5	32.3 (408)	24.6	16.6	21.2 (227)	44.6	32.1	40.3 (416)	47.5	47.2	47.4 (454)
奨学金など金銭的なこと	7 障害者に対する配慮(バリアフリーの施設など)	5.6	5.7	5.6 (71)	3.0	2.2	2.6 (28)	3.8	5.4	4.4 (45)	10.1	16.9	12.5 (120)
	8 海外からの移住者や外国人に対する配慮	2.4	3.7	2.9 (37)	2.3	1.7	2.1 (22)	1.6	2.0	1.7 (18)	9.7	12.5	10.6 (102)
	9 学校や学習施設、学習についての情報が豊富であること	18.1	17.4	17.8 (225)	16.1	10.2	13.5 (145)	24.6	16.8	21.9 (226)	29.6	28.8	29.3 (281)
奨学金など金銭的なこと	1 国や自治体からの金銭的援助	15.7	27.0	20.3 (256)	9.5	17.7	13.1 (140)	11.9	15.6	13.2 (136)	42.0	39.5	41.1 (394)
	2 市民団体・地域団体からの金銭的援助	3.2	4.5	3.7 (47)	6.2	5.2	5.8 (62)	3.2	3.4	3.3 (34)	19.8	17.8	19.1 (183)
	3 学習施設・機関からの金銭的援助	8.1	9.4	8.6 (109)	7.6	6.9	7.3 (78)	3.8	3.4	3.7 (38)	32.9	28.2	31.2 (299)
その他	1 学習修了後の、学習施設や公的機関からの就業の紹介や起業の支援	7.2	12.5	9.3 (118)	7.2	9.7	8.3 (89)	6.6	4.5	5.9 (61)	20.0	21.1	20.4 (195)
	2 学んだ成果が制度として、社会の中で、評価・認定されるしくみ	9.3	11.2	10.0 (127)	11.2	9.3	10.4 (111)	18.5	11.4	16.1 (166)	29.3	33.5	30.8 (295)